



ケーススタディ : IBM

グローバルな人材の採用・育成・定着を目的に
デジタルバッジを活用

“ IBM は、新しい人材を惹きつけ、既存の従業員をキャリアパスに沿って成長させ、適材適所を実現するために、デジタルバッジの技術を採用し、IT 業界におけるリーダー的地位を獲得しています。 ”

David Leaser

IBM

イノベーション&グロース イニシアチブ
シニア プログラム マネージャー

概要

IBM は、世界的に統合されたテクノロジーおよびコンサルティング会社で、イノベーションは戦略の中核をなしています。同社は、幅広いインフラ、クラウド、コンサルティングサービスとともに、ソフトウェアおよびシステムハードウェアを開発、販売しています。

170 以上の国における事業展開やグローバルなパートナー エコシステムを有する IBM は、企業、政府機関、非営利団体等の顧客に問題解決とダイナミックな洞察力を提供するために、業界で最も有能で柔軟、かつ才能ある人材を雇用する必要があります。

IBM グローバル・スキル・イニシアチブは、ペースの速い IT 業界において、IBM とそのパートナーの従業員が最新かつ優位性の高いスキルを保てるよう、最新の学習機会を体系化し、提供しています。

IBM の課題

能力の開発および検証：

IBM ソリューションに対する顧客の信頼を維持し、戦略目標を達成するためには、IBM のエコシステム全体でコンピテンシーとスキルを開発、検証することが重要。

従業員のエンゲージメント：

IBM の Smarter Workforce Institute の調査によると、企業が人材を惹きつけ、コミットメント エンゲージメントを高め、能力開発をおこなうためには、正当な評価をおこなうことが重要な要素であることが明らかに。特に、マルチ・チャンネルでの評価は、従業員のエンゲージメント レベルを向上させ、結果的に離職率を大幅に削減することが可能。

ネットワークの調整：

IBM は戦略的なトレーニングおよび業界パートナーのネットワークに依存しているが、学習、能力開発、評価プログラム間の調整を多様なグローバル市場において実施することは困難であり、また、主要な業績データの入手には一貫性が欠如。

IBM と Acclaim

これらの課題に対処するため、IBM はウェブ標準のオープンバッジ フォーマットで発行されたデジタルバッジに関心を持ちました。どのプラットフォームが主要な要件を満たすかを検討する際に、IBM の経営陣は一般的なオンラインアカウントでのシームレスな共有以上のソリューションを求めました。Acclaim の高度な機能は、それらのニーズをすべて満たすものでした。

- モバイル用に最適化されたユーザーエクスペリエンスを備えた安全で最新のアーキテクチャ
- グラフィックデザインからメタデータまで、直感的なバッジテンプレートの作成
- ウェブ API を介した統合や、発行後のバッジの有効期限の失効、差し替え、取り消しといった、多様なバッジ発行および管理オプション
- グローバルの人材ヒートマップの作成を可能にする、高性能なデータ分析とレポート機能
- 認定バッジの主要な定義付けや管理を実行する特定の「認定発行者」の機能に加え、社内チームや外部ネットワークパートナーに公式な IBM バッジを発行する権限を委任できる機能
- リアルタイムでの成果や資格を証明
- IBM とバッジ取得者の双方に対する、バッジスキルに応じた労働市場の情報提供

IT 技術者が大勢いる IBM が、なぜ独自のデジタルバッジ プラットフォームを構築する代わりに Acclaim を利用することに決めたのでしょうか？

IBM がいろいろな選択肢を検討した際に、3つの明らかな理由が浮上しました。

- 標準、マーケット、ソーシャルネットワークの変化に伴う将来的な機能拡張を維持することに加え、Acclaim が提供する機能を一から構築するのに必要な時間と費用に、IBM のリソースを活用することは非現実的であるという結論に達したため。
- 複数の発行者から資格や成果をバッジとして収集したり、学習や転職機会の情報を受領したり、プロフェッショナルやソーシャルネットワークでバッジを共有しているようなバッジ獲得者にとって、ベンダーニュートラルなバッジ プラットフォームのほうがより大きな価値をもたらすため。
- Acclaim のバッジエキスパートチームは、業界のベストプラクティスを活用して、IBM のバッジ戦略、プログラム設計、分析、運用、および顧客サービスに情報を提供することにより、プログラム全体の管理をもたらすため。

ソリューション

従業員の評価を増やし、エコシステム全体のスキルの向上を促進するために、IBM は Acclaim と提携し、業界をリードするデジタルバッジ プログラムの開発、立ち上げ、評価、および維持を行っています。Acclaim はまた、IBM の顧客に対して、IBM のバッジ取得者が必要なスキルや知識を備えていることを簡単に確認できるプラットフォームを提供しています。

IBM のバッジプログラムは具体的なビジネス目標を念頭に置いて設計されています。

- パートナーとプログラム間で顧客基盤を固める
- 忠実な開発者基盤を構築する
- IBM にとって重要な分野のスキルを向上させる
- ナノレベルでスキルを追跡する
- 製品の試用版ダウンロードによるライセンス販売の増加させる
- 顧客が自らの問題を解決するのに役立つラーニングによって、カスタマーサービスへの入電数を削減する

IBM はさまざまなラーニングおよび認定コースで 4 種類のデジタルバッジを提供しています。

Explorer badges (エクスプローラー・バッジ)

このバッジは、特定分野における知識とスキルの初期段階の成果を意味します。Explorer のカテゴリには、インストラクター主導によるトレーニングや自主トレーニング、ワークショップ、メンタリングセッション、その他の小テストやアセスメントが含まれます。

Advocate badges (アドボケイト・バッジ)

このバッジは、特定分野における高いスキルレベルの学習者としての成果を意味します。Advocate バッジに関連するアクティビティには、ハッカソンへの参加、記事の執筆・出版、他者への教育やメンタリング、他の実業務におけるスキルの適用などが含まれます。

Certified badges (サーティファイド・バッジ)

このバッジは、ハイスタークステ試験のプロセスを通じて正式な IBM 認定を取得した IT プロフェッショナルに授与されます。バッジ取得者は、認定された分野について非常に高いレベルの理解を示していることを意味します。

Inventor badges (インベンター・バッジ)

このバッジは、複雑なテクノロジーソリューションやアプリケーションを設計、実装する能力を証明した人々に授与されます。このエリートグループのメンバーは、概して実用レベルの開発アプリケーションを作成することのできるマスタリーレベルのスキルを有する開発者です。

“アドビ、オートデスク、IBM、マイクロソフトなど、Acclaim は民間企業の顧客を増やしており、これまでに 150 万以上のバッジを発行しています。一部のバッジの申請率は 90 % にものぼり、これは市場が資格に対して価値を見出しているという有望な兆しです。”

Fast Company

*Say Hello to the University of
Microsoft より*

結論

IBM はプログラムの開始 6ヶ月で、イノベーションと進歩というミッションを促進するために、人材を惹きつけ、企業と従業員による相互のコミットメントを高め、能力開発するという IBM のニーズに応えるという、Acclaim によるバッジへの投資に対する具体的な成果を達成しました。

87%

エンゲージメントの増加：
IBM のバッジ取得者の 87% が、より IBM との
つながりを感じ、モチベーションが上がった



プログラムの開始 8 週間で、80 カ国以
上の人がバッジを取得

80
カ国以上

70%

コース修了率の増加：
IBM のバッジを取得できるオンラインコー
スからの受験率が 70 %増加



スキルアップを目指す人の割合の増加：
2 人に 1 人のバッジ取得者が、さらなるバッジ
の取得を目指す

2人に
1人

業界平均を
上回る

測定可能なブランド露出の増加：
バッジ申請率は業界平均以上で、バッジ取得者は Linked
in、ツイッター、フェイスブックなどで 1 度以上成果を共有



製品トライアルの直接的な増加：
Big Data University における Quickstart の
ダウンロード数が 60% 増加

60%

企業と従業員の相互コミットメントを高め、ビジネス成果を出すために
Acclaim を活用する方法について www.youracclaim.com をご覧ください。

日本語による詳細は、以下へお問い合わせください。
ピアソンVUE - ナショナル・コンピュータ・システムズ・ジャパン株式会社
E-mail : pvjpsales@pearson.com | Tel : 03-6891-0500 (代表)